

スイートコーン



(10アール当り)

時期	方法	資材と施用法
地力作り	右記を同時に散布、 土壌に鋤き込む (播種までに、なるべく 長く、20日以上おく) なるべく深く豊かな土壌で、 深い根を張らせる事	<ul style="list-style-type: none"> ●ラクトバチルス600g ●堆肥1トン以上 ●硫安60kg <p>※多肥とする場合も 硫安80kg (N:16kg) 迄。 ※複合肥料を施す場合も P・K成分をN成分より多くはしない事。 ※土壌EC:0.2以下でないと、根が伸びにくくなるが、伸びた根は堆肥 肥や地力の肥料分をよく吸収するので、チッソ過多にしないように。 土壌が酸性すぎる場合は、畑の大将<青>も混用。(好適pH:5.5~7.5)</p>
播種前	整地・ウネ立て時に散布	<ul style="list-style-type: none"> ●畑の大将<青> 60kg
播種時	播種後、灌水して鎮圧	<ul style="list-style-type: none"> ●根っ酵素1ℓ (倍率・適宜) → 発芽発根促進。 <p>※発芽後・半月の間に、側根や節の支柱根が充分太く伸びて、強く吸水・ 吸肥を行ない、稈を太く旺盛に生長させることが重要。</p>
[播種後30日 ~40日頃] 膝高期	追肥して土寄せ 根の作用を強くして、土 の中にある肥料分を吸 取させるのが、理想的	<p>状態によって調節し、この後1ヶ月ほど、雄・雌の穂が分化する間の体 質を決める。通常は・・・</p> <ul style="list-style-type: none"> ●マンゾク粒状20~40kgで根を強化 <p>※もし、どうしても土壌中に不足している場合には追肥するが、チッソだ けでなくカルシウムを同時に施すことが実成りのために大事。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●硫安20kg ●畑の大将<青> 20kg
[播種後60日 ~70日頃] 雌穂分化期 雄穂抽出期	雌穂の分化、充実のため にカルシウムの葉面 散布をしっかりと行う (農薬混用可、ただし銅 剤は不可)	<ul style="list-style-type: none"> ●花咲くCa液500倍を葉面散布 <p>①7日間隔で2回繰返す。もしチッソ過多・過繁茂の場合3~400倍 と濃いめ、間隔も短く繰返す。中段の同じ高さに揃って確実に雌 穂を着ける。 ②更に雄穂抽出始めにも散布。茎頂の雄穂が出る始めに散布し、雌 穂の抽出を早め、雌花の開花を穂先まで充実させて、不稔粒をなくす。</p>
成熟期	コーン粒の仕上げの カルシウム散布	<ul style="list-style-type: none"> ●花咲くCa液500倍を葉面散布 <p>※受精後15~20日の乳熟期、それから7日間の糊熟期に、カルシウム の葉面散布を行う。(2回) これで粒の充実をよくし、糖度が上がり、粒にシワがよらず、鮮度保持 力が強くなる。</p>